

定住自立圏共生ビジョン 事業一覧

令和 5 年度事業落着
令和 6 年度事業当初計画

(単位：千円)

令和 5 年度事業費 (落着)	総額		一般財源		特定財源等		令和 6 年度事業費 (当初予算)	総額		一般財源		特定財源等	
	67,191		53,100		14,091			90,070		64,459		25,611	
(館山市)	43,642		36,728		6,914		(館山市)	49,892		40,480		9,412	
(南房総市)	23,549		16,372		7,177		(南房総市)	40,178		23,979		16,199	

《 1 生活機能の強化に係る政策分野 》

No	共生ビジョン事業名	両市で行う取組	費用負担	令和 5 年度（落着）	単年度事業費（千円）						令和 6 年度（当初）	単年度事業費（千円）					
				単年度事業内容	総額	館山市 南房総市	一般財源	館山市 南房総市	特定財源等	館山市 南房総市	単年度事業内容	総額	館山市 南房総市	一般財源	館山市 南房総市	特定財源等	館山市 南房総市
1	医療体制の維持及び 医療人材の確保事業	小児科医や看護師等の医療人材が不足する中、圏域内の医療体制の維持・充実を図るため、安房医師会と連携し、医療人材の育成・確保を進めるとともに、周産期及び小児科の医療体制など、地域医療の調査・研究に取り組む。	必要な経費については両市で協議を行い、費用負担を決定する。	圏域内の病院及び有床診療所に対する看護師等充足状況調査を令和 5 年 6 月に実施した。また、看護師確保のために実施している看護師等修学資金貸付制度の見直しに向け、看護協会安房地区部会との情報交換会を令和 6 年 2 月に実施した。	0	0	0	0	0	0	■ 周産期及び小児医療に係るアンケート調査の実施 ■ 小児科医による講話など、勉強会の開催 ■ 医療人材の育成・確保に向けた関係団体とのワークショップや意見交換会の開催	0	0	0	0	0	0
2	支援対象児童等 見守り強化事業	要保護児童対策地域協議会の支援対象児童等として登録されている子ども等の居宅を訪問するなどし、状況の把握や食事の提供、学習・生活指導支援等を通じて子どもの見守りを行う。 <実施事業> ・児童の状況把握 ・食事の提供（子ども食堂、配食サービス） ・生活習慣の習得支援や生活指導 ・学習習慣の定着等の学習支援	両市共に国庫補助金を活用し、それぞれが負担する。	要保護児童対策地域協議会を中心に把握する支援ニーズの高い児童を対象に、以下の 4 事業を実施し、児童の見守り強化を図った。 ・弁当宅配業務 ・こども食堂業務 ・集合型学習支援業務 ・個別型学習支援業務	16,295	8,589 7,706	4,640	2,863 1,777	11,655	5,726 5,929	引き続き、『両市で行う取組』に記す事業を共同で実施する。	18,866	9,000 9,866	6,289	3,000 3,289	12,577	6,000 6,577
3	介護人材確保に向けた 普及啓発事業	介護に関する入門的研修の合同開催。 介護の仕事の魅力発信・普及啓発。 ・中学・高校等への出前講座の実施 ・市役所や商業施設等での介護現場のパネル展示 ・介護事業者主体の啓発事業への支援・連携活動	契約・支出等は館山市が主に担い（一旦全額負担）、南房総市は総事業費（一般財源分）の半額を負担金として館山市に支払う。	令和 5 年 10 月に館山市内で開催された「介護の入門的研修」について、館山市・南房総市に所在する介護保険事業所に、研修受講者へ介護の仕事についての説明や、職場見学の受入れについて協力を仰いだ。	0	0	0	0	0	0	・入門的研修の開催支援 ・事業者団体が行う啓発事業への支援 ・出前講座の実施・支援	100	50 50	100	50 50	0	0
4	地域密着型サービス等の 適正化に関する 共同処理事業	・地域密着型サービスの相互利用に関する協定締結 ・事業所指導や給付適正化に関する共同研究・共同実施	基本的には費用はかからないが、需用費等少額の経費については、原則館山市負担とする。その他の高額費用が発生する場合は、都度協議とする。	・令和 5 年 8 月に安房 3 市 1 町で地域密着型サービスの相互利用に関する協定を締結した。 ・集団指導の共同実施に向けて、互いの市がどのような形で集団指導を実施しているかを共有した。館山市担当者が南房総市の集団指導を見学し、共同での実施方法について検討した。	0	0	0	0	0	0	・集団指導の共同実施について、担当者レベルで協議を行う。	0	0	0	0	0	0
5	有害鳥獣被害防止 技術向上事業	農作物に大きな被害を及ぼし、両市において農業振興の障害となっている有害鳥獣の被害防止対策について、捕獲、防御及び環境整備の面で両市及び両市の有害鳥獣対策協議会で連携して講習会等を開催し、被害防止技術の向上を図る。	基本的には両市の捕獲従事者を中心とした市民を対象に講習会等を実施することから費用負担は折半とし、協議会へ負担する。	両市の捕獲従事者向け研修を実施した。 開催日：令和 5 年 1 1 月 1 4 日 会場：千葉県南総文化ホール テーマ：捕獲活動の衛生対策 講師：合同会社 A M A C 浅田氏	132	66 66	132	66 66	0	0	両市の捕獲従事者を対象とした捕獲技術向上研修の実施を予定。 年度当初より、実施会場、内容等について検討を開始する。	400	200 200	400	200 200	0	0
6	中小企業支援事業	市内中小企業、個人事業主を支援するため、新商品開発、販路拡大、起業支援等を一括してアドバイスできる総合窓口を開設する。 各関係機関の専門員や、地元の起業者等を相談員として招き、市内中小企業の課題や悩み等のアドバイスをを行う。	館山市と南房総市で交互に窓口を開設するため、基本的には折半とする。	千葉県よろず支援拠点から相談対応コーディネーターを派遣していただき、令和 6 年 1 月から、毎月第 4 水曜日に館山市と南房総市で交互に相談窓口を開設している。 【実績】相談件数 ・館山市開催 ： 4 件 ・南房総市開催： 5 件 ⇒合計 9 件	0	0	0	0	0	0	・市内事業者を対象に経営改善や人材確保等の課題解決のため、デジタル化を推進する。（啓発セミナーの開催、分析ツールによる企業診断、専門家によるサポート、導入補助金） ・子育て世代や在宅介護世代を中心とした市民を対象に「自由な働き方」による所得向上を目的としたデジタルスキルアップセミナーを開催	22,600	8,225 14,375	11,450	5,725 5,725	11,150	2,500 8,650

《 1 生活機能の強化に係る政策分野 》

1 生活機能の強化に係る政策分野 《 》				令和5年度（落着）		単年度事業費（千円）					令和6年度（当初）		単年度事業費（千円）				
No	共生ビジョン事業名	両市で行う取組	費用負担	単年度事業内容	総額	館山市 南房総市	一般財源	館山市 南房総市	特定財源等	館山市 南房総市	単年度事業内容	総額	館山市 南房総市	一般財源	館山市 南房総市	特定財源等	館山市 南房総市
7	データに基づく 戦略的観光 プロモーション	両市の観光協会が共同で実施する次の事業に補助金を交付する。 ①研究・リサーチ、②情報発信、③ブランディング、④観光コンテンツ造成、⑤顧客管理等推進、⑥プロモーション、⑦イベントの実施（(例)道の駅を活用した「海」・「花」・「食」をテーマとする「食の祭典」）、⑧事業実施事務経費 <実施スケジュール> ①～⑥・⑧：毎年度（⑥について、初年度は温泉等の現段階で共有できるコンテンツ、次年度以降は①から⑤の結果により実施） ⑦：R6・7年度	特別交付税措置の費用負担割合（8：2）	・じゃらんリサーチセンター所長沢登次彦氏及び同センター岡田由香里氏により「これからの観光地戦略へ向けて」「具体的な地域事例とその取組」「データで見る南房総・館山」をテーマとしたセミナーの実施 ・観光動態調査等データ分析の実施 ・ナイトタイムエコノミー・ダイヤモンド富士・いちご・ベット可施設など両市が共有する観光コンテンツを活用した観光プロモーションの実施 ・両市合同パンフレット作成 ・両市の観光への取組みを周知するため、地域情報誌等掲載 ・LINE合同アカウントによる顧客管理及び共有する観光コンテンツの情報発信	17,944	14,355 3,589	17,944	14,355 3,589	0	0 0	・「観光地経営」「地域経営」の地域認識を向上させるセミナーの開催及び勉強会を実施予定。 ・観光動態調査の実施や宿泊データ分析システムを導入予定。 ・温泉・ナイトタイムエコノミー・ダイヤモンド富士・いちごをはじめとしたグルメなど、各種調査結果に基づく観光コンテンツを活用し、各種宣伝や合同パンフレットの作成などの観光プロモーションを実施予定。 ・両市の道の駅を巡るイベントを開催予定。 ・LINEの活用による顧客管理及び情報発信を実施。	19,950	15,960 3,990	19,950	15,960 3,990	0	0 0
8	地球温暖化防止 対策事業	脱炭素へ向けた取組を推進するため、ゼロカーボンシティ宣言を表明した両市で連携し普及啓発を行うほか、グリーンカーボンやブルーカーボンなど海や山に囲まれた両市の地域性を活かした取組を進める。	普及啓発活動に必要な経費については両市で協議を行い、費用負担を決定する。	両市で、脱炭素への意識向上を目的とした「脱炭素化促進カレンダー」を作成。各市の小中学生を中心に配布した。	650	333 317	590	333 257	60	0 60	両市で連携し、脱炭素へ向けた取組を推進するための普及啓発物（エコライフカレンダー）を作成する。	768	396 372	708	396 312	60	0 60
9	生涯学習活動振興 連携事業	国から史跡指定を受けた里見氏城跡 稲村城跡 岡本城跡について両市で連携してポスターやHP等により情報発信を行う。 館山市図書館と南房総市図書館が連携し、各市で所有する資料の相互利用を行う。	ポスターの枚数や資料貸出件数による按分とする。	稲村城跡及び岡本城跡についての具体的な連携事業は実施しなかったが、お互いの整備状況を確認するなど、情報共有に努めた。また、道の駅グリーンファームがオープンしたことによる稲村城跡への影響について、1年間モニタリングすることを確認した。	0	0 0	0	0 0	0	0 0	令和6年2月にオープン予定の道の駅グリーンファーム館山において、稲村城跡を訪れる人数をモニタリングし、その分析結果を踏まえ、令和7年度以降の情報発信方法や広報手段を両市で検討する。 館山市図書館と南房総市図書館が連携し、各市で所有する資料の相互利用を行う。	0	0 0	0	0 0	0	0 0
10	社会体育施設 連携事業	館山市と南房総市の社会体育施設を連携、相互利用を促進することにより、利用者の利便性向上及び施設利用の合理化を図るもの。	施設維持管理費については、施設設置自治体の負担とする。 その他の経費については、両市で協議を行う。	両市の社会体育施設の数、維持管理費に大きな違いがあることから、課題を整理し、引き続き検討する。	0	0 0	0	0 0	0	0 0	両市の社会体育施設の数、維持管理費に大きな違いがあることから、課題を整理し、引き続き検討する。	0	0 0	0	0 0	0	0 0
11	学校の魅力向上推進事業	圏域内に位置する学校との連携を強化し、「地域内外から選ばれる学校」になるための環境整備を働きかける。 ①高校の学区を超えた受験を可能とする規制緩和を目指す。 ②高校の入学者の確保に向け、遠方の志願者が入学後に滞在できる寮等の下宿先の確保を目指す。 ③中高一貫校の設立の可能性を検討する。	意見交換会に関する費用等、圏域全体の学校に関する内容については基本的に館山市が負担する。	両市に所在する高等学校等の学校長や両市担当者による意見交換会を実施した。 両市立小中学校の再編や市職員の採用状況について事務局からの説明後、インターンシップについて意見交換した。	0	0 0	0	0 0	0	0 0	引き続き、学区外受験の規制緩和の要望、寮等の下宿先の検討を行っていく。 また、地域活動や就職説明会などを通じ、「安房地域で暮らしたい」、「安房地域で就職したい」、「安房地域に戻ってきたい」と思ってもらえるよう、学校と連携して企画運営をしていく。	0	0 0	0	0 0	0	0 0
			事業1～11	小 計	35,021		23,306		11,715		予算要求額 小 計	62,684		38,897		23,787	
				(館山市)	23,343		17,617		5,726		(館山市)	33,831		25,331		8,500	
				(南房総市)	11,678		5,689		5,989		(南房総市)	28,853		13,566		15,287	

《 2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野 》

《 2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野 》				令和5年度（着落）		単年度事業費（千円）					令和6年度（当初）		単年度事業費（千円）					
No.	共生ビジョン事業名	両市で行う取組	費用負担	単年度事業内容	総額	館山市 南房総市	一般財源	館山市 南房総市	特定財源等	館山市 南房総市	単年度事業内容	総額	館山市 南房総市	一般財源	館山市 南房総市	特定財源等	館山市 南房総市	
12	南房総・館山地域 公共交通活性化推進事業	生活圏をともにする2市において、公共交通ネットワークの維持確保・利便性向上に係る取組を推進するため、「2市にまたがる幹線系統の維持」「公共交通空白地対策」「館山市街地の回遊性向上」「新たな交通システムの検討」「観光二次交通の充実」等を軸とした事業を展開する。	南房総・館山地域公共交通活性化協議会における実証運行事業については5：5、協議会運営費については8：2で負担する。 館山市が実施する市街地循環バスについては、全額館山市が負担する。	引き続き、公共交通活性化協議会を組織し、公共交通の維持・利用増に向けた施策を展開した。 ・館山市街地循環バスは、一定の需要が確認できたため、令和5年6月から本格運行を開始した。 ・令和5年9月末で廃止した路線バス平群線に代わる移動手段として、これまでのバス路線よりも集落の中まで入り、かつ、路線バスエリア外であった館山市の館野・九重地区（一部）を対象に加え、事前予約制乗合送迎サービス「チョイソコ南房総・館山」の運行を開始した。 ・豊房地区を中心とした買い物シャトルサービスについては、利用者ニーズとの乖離が見られたため、令和5年12月から「チョイソコとよふさ」に移行し、実証運行を開始した。	23,593	13,593 10,000	21,217	12,405 8,812	2,376	1,188 1,188	令和6年度も継続して、公共交通空白地の解消や利用状況が低迷している路線バスの見直し等に取り組むとともに、将来的な利便性の向上に向けた新たな施策にもチャレンジしていく。加えて、現行の「南房総・館山地域公共交通計画」が令和7年度をもって終了することから、計画の更新に向けた市民アンケート調査を実施する。 【主な実施事業案】 ・路線バス豊房線の見直し・利便性向上を目指し、「チョイソコとよふさ」の実証運行を継続 ・深夜時間帯の移動手段確保に向けた、館山駅発の予約制タクシー実証運行 ・イオンタウンに乗り入れ、買い物需要も高い路線バス館山市内線へのキャッシュレス決済導入実証事業 ・「南房総・館山地域公共交通計画」の更新のための市民アンケート調査	18,684	9,513 9,171	16,860	8,601 8,259	1,824	912 912	
13	移住定住・就業促進事業	両市の行政機関とNPO法人及び関連機関等によるネットワーク（推進体制）を構築し、両市の移住・定住と圏域企業への就業（起業及び新規就農を含む）に関する情報の一元化や相談窓口のワンストップ化を図る。 また、定期的な意見交換・情報交換の機会を設け、圏域全体で移住と圏域企業への就業（起業及び新規就農を含む）を促進するとともに、定住に向けたフォローアップを行う。	特別交付税措置額をベースとした費用負担割合（8：2）とし、館山市が一時的に全額を支出し、南房総市は後日、館山市に対して応分の負担金を支出する。	・両市及びNPO法人おせっ会が連携して移住相談に対応するとともに、おせっ会YouTubeチャンネルで両市の企業情報を紹介した。 ・9/17(日)に東京国際フォーラムで開催された「ふるさと回帰フェア」に両市で参加し、移住相談対応を実施した。 ・ふるさと回帰支援センターセミナールームを活用し、館山市・南房総市共同で移住・定住に係るコラボセミナーを11/18(土)に実施した。 ・1/13(土)に東京ビッグサイトで開催された「JOIN移住・交流&地域おこしフェア」に両市で参加し、移住相談対応を実施した。 ・館山市・南房総市共同でトライアルステイ（お試し移住）事業を初めて実施した。	6,500	5,200 1,300	6,500	5,200 1,300	0	0 0	・両市及びNPO法人おせっ会が連携して移住相談に対応するとともに、おせっ会YouTubeチャンネルで両市の企業情報を紹介する。 ・ふるさと回帰支援センターセミナールームを活用し、館山市・南房総市共同で移住・定住に係るコラボセミナー、相談会を実施する。 ・館山市・南房総市共同でトライアルステイ（お試し移住）事業を実施する。	6,500	5,200 1,300	6,500	5,200 1,300	0	0 0	
14	館山市・南房総市 共通返礼品の 企画・開発とPR	現在、「共通のふるさと納税返礼品に関する自治体間連携協定」に基づき両市ですすめている、共通のふるさと納税返礼品の企画・開発、PRの取組を実施する。	事業費は「ふるさと納税の返礼品調達経費」となり、総務省の基準（寄附額の5割以下）の適用を受ける。 宣伝広告など実施する場合、市によって状況異なるため、細かい調整が必要となる。当面は予算不要の取組を中心に行うこととする。	令和5年度に事業者から返礼品の提案があり、南房総市と共通返礼品として登録できるよう協議・調整を行った。現在、両市のポータルサイトに掲載できるよう準備を行っている。	0	0 0	0	0 0	0	0 0	引き続き検討を行い、共通返礼品の開発等を行う。	0	0 0	0	0 0	0	0 0	
			事業12～14	小 計	30,093		27,717		2,376		予算要求額 小 計	25,184		23,360		1,824		
				（館山市）		18,793		17,605		1,188		（館山市）		14,713		13,801		912
				（南房総市）		11,300		10,112		1,188		（南房総市）		10,471		9,559		912

《 3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野 》

No	共生ビジョン事業名	両市で行う取組	費用負担	令和5年度（落着） 単年度事業内容	令和5年度（落着） 単年度事業費（千円）						令和6年度（当初） 単年度事業費（千円）					
					総額	館山市 南房総市	一般財源	館山市 南房総市	特定財源等	館山市 南房総市	総額	館山市 南房総市	一般財源	館山市 南房総市	特定財源等	館山市 南房総市
15	職員の資質等向上事業	①外部専門家による研修の合同実施 ②両市職員間の情報交換等の活性化	合同研修については、参加人数による按分とし、円未満の端数が生じた場合は按分後の額が低い市が負担する。	共通課題の洗い出しを行い、研修内容の検討を行った。	0	0 0	0	0 0	0	0 0	294	147 147	294	147 147	0	0 0
16	外部専門人材活用事業	館山市・南房総市の魅力向上・魅力発信のアドバイザーとして参与を委嘱し、地方創生施策を推進する。	館山市が委嘱する参与であるため、館山市が負担する。	これまでは館山市単独実施の事業について助言をいただいていたが、南房総市でも活用してもらえるよう、館山市での活用事例を紹介し周知してもらった。	935	935 0	935	935 0	0	0 0	600	600 0	600	600 0	0	0 0
17	情報化推進 （業務効率化）事業	業務のデジタル化を推進するため、A I ・ R P A ・マイナンバーカードを活用したシステムの共同利用や経費削減等の情報共有・検討を行い、「業務改善・業務効率化」「住民サービスの向上」につなげる。 データの利活用や施設の予約システムなどの共同利用を推進する。	基本的には、それぞれで負担となるが、共同調達でできるものについては、館山市が支払い、協議の上、負担金として南房総市に請求する。	フォーム作成・集計サービス（LoGoフォーム）の共同調達	1,142	571 571	1,142	571 571	0	0 0	1,308	601 707	1,308	601 707	0	0 0
事業15～17				小 計	2,077		2,077		0		予算要求額 小 計	2,202		2,202		0
				（館山市）		1,506		1,506		0	（館山市）		1,348		1,348	0
				（南房総市）		571		571		0	（南房総市）		854		854	0